

2020 年度 「奴隷労働および人身取引」 に対する岩瀬コスファグループの声明

この声明は、英国で施行されている現代奴隷法に基づき、岩瀬コスファ株式会社とその子会社（以下「岩瀬コスファグループ」という）の事業およびサプライチェーンにおいて、奴隷労働および人身取引の発生防止を目的として 2020 年度に行った取組みについて公表するものです。

1. 事業概要、組織、サプライチェーン

岩瀬コスファは、1931 年の創業以来、医薬品、化粧品から健康食品まで幅広い分野に原料を供給しています。岩瀬コスファグループは日本を中心として、英国でも事業活動を行う岩瀬コスファヨーロッパを含め、世界 8 社で構成されています。岩瀬コスファグループの 2020 年統計年度の従業員数は 291 名でした。

岩瀬グループの取扱う原料は国内外の様々なサプライヤーから調達しています（2020 年度末現在約 500 社以上）。

2. 人権に関する当社の方針

岩瀬コスファグループは企業理念として「美と健康を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」を掲げ、社会の一員としての責任を果たします。また事業およびサプライチェーンにおいて、奴隷労働および人身取引に反対しています。

岩瀬コスファは、2016 年 12 月に人権に関する各種の国際規範の尊重を義務付ける、日本経済団体連合会の企業行動憲章を遵守することを誓約しました。加えて、「岩瀬コスファコンプライアンス規範」を制定し、会社のすべての役員と従業員が人権を遵守しなければならないと定めています。その中で、強制労働、奴隷労働、児童労働を禁止する法律や規制に対する当社の方針と行動についても明記しています。

また、岩瀬コスファグループは、国連の提唱する「国連グローバル・コンパクト」に賛同し 2019 年 11 月に署名しています。人権に対し、「国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重」し、「自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである」ことにコミットメントしています。岩瀬コスファは、持続可能な将来に向けて、透明性を追求し、2020 年 2 月に二度目の CSR レポートを公表しました。

3. デューデリジェンス（適正審査）

岩瀬コスファグループはサプライチェーンにおいて人権が侵害される恐れがあることを認識しており、サプライヤーとリスクの認識および人権の尊重を共有するため、グループ全体で以下の取組みを実施しています。

岩瀬コスファグループは、サプライチェーン全体の価値を向上させ、適正な業務運営を確保するために「サプライヤー倫理要綱」を作成しました。

「サプライヤー倫理要綱」は次の条件を禁止としています：

- 児童労働、奴隷労働、強制労働、虐待、人身取引など、あらゆる差別や人権侵害を禁止すること
- 責任ある調達を推進し、紛争鉱物規制を原則として使用しないこと

当社はこれにより、サプライチェーンにおける奴隷労働および人身取引のリスク低減の一助となると考えています。

岩瀬コスファサプライヤー倫理要綱は、岩瀬コスファコーポレートウェブサイトにて公開されています。

2020年には岩瀬コスファの重要なサプライヤーの50%以上から、倫理要綱の署名を取得しました。2021年には、その割合を60%にまで高めるように努めます。

4. リスクの評価と管理

岩瀬コスファグループでは差別や人権侵害へのリスク評価と管理は、内部統制システムの中で、岩瀬コスファグループの「コンプライアンス推進規程」に従い設置されたコンプライアンス委員会が行っています。

5. モニタリング体制

岩瀬コスファグループでは、奴隷労働等の人権擁護に関する懸念の報告を受け、対応する手段を複数用意しています。コンプライアンス推進室を設け、社員向けには内部通報制度を構築し、社外向けには公益通報窓口を開放して当社のコンプライアンス違反への通報・相談を幅広く受け付けています。

またサプライチェーンの各社に対し、人権尊重を含むCSRへの取組み状況をモニタリングするためのアンケートを実施し、課題のある取引先については改善を依頼します。

岩瀬コスファグループ内におけるモニタリングの中で、これまで、児童労働や強制労働などに関する問題が発生したとの情報はありません。

6. 研修

岩瀬コスファグループは、新入社員が「コンプライアンス規範」に精通し、完全に遵守できるように、コンプライアンスに関する研修を実施しています。また、全ての役員と従業員に「コンプライアンス規範」をまとめたハンドブックを配布して周知徹底を図り、いつでも確認ができる環境を整えています。

また、2020年に、全ての社員がCSR（Corporate Social Responsibility）に関するトレーニングを受け、サプライチェーンにおけるリスク管理の重要性に関して学びました。

岩瀬コスファは、人権尊重の推進を、サステナビリティにおける重要課題と考えています。今後も、現代奴隷労働問題及び人身取引の発生防止への対応を継続的に実施します。

私、岩瀬由典は、「2020年度 奴隷労働および人身取引」の内容が事実であり、岩瀬コスファの取締役会の承認を得たものであることを証明いたします。

2021年1月13日

岩瀬コスファ株式会社
代表取締役社長
岩瀬由典